

【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書の訂正届出書
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成28年6月28日
【会社名】	エルアンドイーホールディングス株式会社（注）1
【英訳名】	L&E Holdings Co.,Ltd.（注）1
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 清水 康（注）1
【本店の所在の場所】	京都市南区久世高田町35番地3（注）1
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	洛王セレモニー株式会社 取締役経営企画室長 倉田 浩人
【最寄りの連絡場所】	洛王セレモニー株式会社 京都市南区久世高田町35番地3
【電話番号】	洛王セレモニー株式会社 075 - 933 - 4242
【事務連絡者氏名】	洛王セレモニー株式会社 取締役経営企画室長 倉田 浩人
【届出の対象とした募集有価証券の種類】	株式
【届出の対象とした募集金額】	999,053,102円（注）2
【安定操作に関する事項】	該当事項はありません。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

（注）1 本訂正届出書提出日現在において未確定のため、予定を記載しております。

2 本訂正届出書提出日現在において未確定であるため、洛王セレモニー株式会社の平成28年3月31日現在における株主資本の額（簿価）を記載しております。

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

平成28年6月28日開催の洛王セレモニー株式会社の定時株主総会において、株式移転計画が承認されたこと及び洛王セレモニー株式会社が平成28年6月28日付で近畿財務局長に有価証券報告書を提出したこと並びに同日付で金融商品取引法第24条の5第5項に基づく臨時報告書の訂正報告書を提出したことに伴い、平成28年5月17日付で提出いたしました有価証券届出書（訂正を含む）の記載内容の一部に訂正すべき事項が生じたので、これらを訂正するため有価証券届出書の訂正届出書を提出いたします。

また、同社の定時株主総会議事録の写しを添付書類として追加いたします。

2【訂正事項】

第一部 証券情報

第1 募集要項

- 1 新規発行株式
- 2 株式募集の方法及び条件
- (1) 募集の方法

第二部 組織再編成（公開買付け）に関する情報

第1 組織再編成（公開買付け）の概要

- 1 組織再編成の目的等
- 1 株式移転の目的
- (3) グループ全体の最適化とガバナンス機能の強化
- 2 提出会社の企業集団の概要及び当該企業集団における組織再編成対象会社と提出会社の企業集団の関係
- (1) 提出会社の企業集団の概要
- 提出会社の概要
- 6 組織再編成対象会社の発行する証券保有者の有する権利
- 7 組織再編成に関する手続（公開買付けに関する手続）

第2 統合財務情報

第三部 企業情報

第1 企業の概況

2 沿革

第2 事業の状況

- 1 業績等の概要
- 2 生産、受注及び販売の状況
- 3 対処すべき課題
- 4 事業等のリスク
- 5 経営上の重要な契約等
- 6 研究開発活動
- 7 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

第3 設備の状況

- 1 設備投資等の概要
- (2) 連結子会社の状況
- 2 主要な設備の状況
- (2) 連結子会社の状況
- 3 設備の新設、除却等の計画
- (2) 連結子会社の状況

第4 提出会社の状況

- 1 株式等の状況
- (5) 所有者別状況
- (6) 大株主の状況
- (7) 議決権の状況
- 発行済株式
- 5 役員の状況
- 6 コーポレート・ガバナンスの状況等
- (1) コーポレート・ガバナンスの状況
- 内部統制システムの整備状況
- その他事項

第5 経理の状況

第六部 組織再編成対象会社情報

第1 継続開示会社たる組織再編成対象会社に関する事項

- (1) 組織再編成対象会社が提出した書類
有価証券報告書及びその添付書類
四半期報告書又は半期報告書
臨時報告書

（添付書類の追加）

洛王セレモニー株式会社の定時株主総会の議事録の写し

3【訂正内容】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【証券情報】

第1【募集要項】

1【新規発行株式】

（訂正前）

種類	発行数	内容
普通株式	2,054株	完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない提出会社における株式です。

- （注）1 平成28年3月31日時点における洛王セレモニー株式会社（以下「洛王セレモニー」といいます。）の発行済株式総数を基に算出しております。本株式移転の効力発生に先立ち、洛王セレモニーの発行済株式総数が変化した場合には、エルアンドイーホールディングス株式会社（以下「当社」といいます。）が発行する新株式数は変動いたします。
- 2 普通株式は、平成28年5月16日に開催された洛王セレモニーの取締役会決議（株式移転計画の承認、株主総会への付議）及び平成28年6月28日開催予定の定時株主総会の特別決議（会社法第309条第2項第12号）（株式移転による完全親会社設立承認）に基づき発行いたします。

（訂正後）

種類	発行数	内容
普通株式	2,054株	完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない提出会社における株式です。

- （注）1 平成28年3月31日時点における洛王セレモニー株式会社（以下「洛王セレモニー」といいます。）の発行済株式総数を基に算出しております。本株式移転の効力発生に先立ち、洛王セレモニーの発行済株式総数が変化した場合には、エルアンドイーホールディングス株式会社（以下「当社」といいます。）が発行する新株式数は変動いたします。
- 2 普通株式は、平成28年5月16日に開催された洛王セレモニーの取締役会決議（株式移転計画の承認、株主総会への付議）及び平成28年6月28日開催の定時株主総会の特別決議（会社法第309条第2項第12号）（株式移転による完全親会社設立承認）に基づき発行いたします。

2【株式募集の方法及び条件】

（1）【募集の方法】

（訂正前）

株式移転によることとします。

- （注） 普通株式は、当社成立の前日（平成28年7月6日）における洛王セレモニーの最終の株主名簿に記載又は記録された株主に対して、その所有する洛王セレモニーの普通株式1,000株につき1株の割合をもって割当てられ、各株主に対する発行価格は発行価額の総額を発行数で除した額、そのうち資本に組み入れられる額は資本組入額の総額を発行数で除した額となります。
- 発行価額の総額は、本届出書提出日において未定ですが、洛王セレモニーの平成28年3月31日における株主資本の額（簿価）は999,053千円であり、発行価額の総額のうち5,000千円が資本金に組み入れられます。

（訂正後）

株式移転によることとします。

- （注） 普通株式は、当社成立の前日（平成28年7月6日）における洛王セレモニーの最終の株主名簿に記載又は記録された株主に対して、その所有する洛王セレモニーの普通株式1,000株につき1株の割合をもって割当てられ、各株主に対する発行価格は発行価額の総額を発行数で除した額、そのうち資本に組み入れられる額は資本組入額の総額を発行数で除した額となります。
- 発行価額の総額は、本訂正届出書提出日において未定ですが、洛王セレモニーの平成28年3月31日における株主資本の額（簿価）は999,053千円であり、発行価額の総額のうち5,000千円が資本金に組み入れられます。

第二部【組織再編成（公開買付け）に関する情報】

第1【組織再編成（公開買付け）の概要】

1【組織再編成の目的等】

1．株式移転の目的

(3) グループ全体の最適化とガバナンス機能の強化

(訂正前)

経営資源の最適な配分を行い、役職員等の責任意識、モチベーション等の強化を図ることで意欲的な従業員の採用・輩出するとともに、純粋持株会社傘下の各事業会社の経営者の権限と責任を明確化させることにより、当社全体のガバナンスの強化を推進することが可能と考えております。

なお、純粋持株会社体制への移行は、平成28年6月28日開催予定の定時株主総会において承認可決されることを前提としております。

(訂正後)

経営資源の最適な配分を行い、役職員等の責任意識、モチベーション等の強化を図ることで意欲的な従業員の採用・輩出するとともに、純粋持株会社傘下の各事業会社の経営者の権限と責任を明確化させることにより、当社全体のガバナンスの強化を推進することが可能と考えております。

なお、純粋持株会社体制への移行は、平成28年6月28日開催の定時株主総会において承認可決された株式移転計画に基づき実施いたします。

2. 提出会社の企業集団の概要及び当該企業集団における組織再編成対象会社と提出会社の企業集団の関係

(1) 提出会社の企業集団の概要

提出会社の概要

(訂正前)

商号	エルアンドイーホールディングス株式会社 (英文名 : L&E Holdings Co.,Ltd.)		
本店所在地	京都市南区久世高田町35番地 3		
代表者及び役員の就任 予定	代表取締役	清水 康	現 洛王セレモニー 社外取締役
	取締役	北村 憲司	現 洛王セレモニー 代表取締役社長 現 神奈川こすもす 取締役
	取締役	倉田 浩人	現 洛王セレモニー 取締役 現 神奈川こすもす 監査役
	取締役	近藤 正明	現 洛王セレモニー 社外取締役
	取締役	白 日光	現 洛王セレモニー 社外取締役
	監査役	須増 建次	
事業の内容	子会社等の経営指導及びそれに付帯又は関連する業務		
資本金	5,000,000円		
決算期	3月31日		
純資産の額	999,053千円(注2)		
総資産の額	1,862,838千円(注2)		

(注) 1 株式会社神奈川こすもすは、「神奈川こすもす」と記載いたします。(以下同様。)

2 純資産及び総資産の額は、本届出書提出日現在において未確定であるため、洛王セレモニーの直前期末である平成28年3月31日現在における貸借対照表を基礎として、見込額を算出し記載しております。

(訂正後)

商号	エルアンドイーホールディングス株式会社 (英文名 : L&E Holdings Co.,Ltd.)		
本店所在地	京都市南区久世高田町35番地 3		
代表者及び役員の就任 予定	代表取締役	清水 康	現 洛王セレモニー 社外取締役
	取締役	北村 憲司	現 洛王セレモニー 代表取締役社長 現 神奈川こすもす 取締役
	取締役	倉田 浩人	現 洛王セレモニー 取締役 現 神奈川こすもす 監査役
	取締役	近藤 正明	現 洛王セレモニー 社外取締役
	取締役	白 日光	現 洛王セレモニー 社外取締役
	監査役	須増 建次	
事業の内容	子会社等の経営指導及びそれに付帯又は関連する業務		
資本金	5,000,000円		
決算期	3月31日		
純資産の額	999,053千円(注2)		
総資産の額	1,862,838千円(注2)		

(注) 1 株式会社神奈川こすもすは、「神奈川こすもす」と記載いたします。(以下同様。)

2 純資産及び総資産の額は、本訂正届出書提出日現在において未確定であるため、洛王セレモニーの直前期末である平成28年3月31日現在における貸借対照表を基礎として、見込額を算出し記載しております。

6【組織再編成対象会社の発行する証券保有者の有する権利】

（訂正前）

(1) 株式買取請求権の行使の方法について

洛王セレモニーの株主が洛王セレモニーに対して、その保有する普通株式につき、会社法第806条に定める反対株主の株式買取請求権を行使するためには、平成28年6月28日開催予定の定時株主総会に先立って本株式移転に反対する旨を通知し、かつ、定時株主総会において本株式移転に反対する旨の議決権行使を行うとともに、会社法第806条第3項に基づく通知又は第4項に基づく公告を行った日から20日以内に、その株式買取請求に係る株式の数を明らかにして行う必要があります。

(2) 議決権の行使の方法について

洛王セレモニーの株主による議決権の行使の方法としては、平成28年6月28日開催予定の定時株主総会に出席して議決権を行使する方法があります（なお、株主は、洛王セレモニーの議決権を有する他の株主1名を代理人として、その議決権を行使することができます。この場合、当該株主又は代理人は、株主総会ごとに作成された、当該株主総会に関する代理権を証明する書面を、洛王セレモニーに提出する必要があります。）。また、当該株主が書面によって議決権を行使する方法もあり、その場合には平成28年6月27日午後6時までに議決権を行使することが必要となります。

なお、議決権行使書用紙に各議案の賛否又は棄権の記載がない場合は、賛成の意思表示があったものとして取り扱います。

株主は、複数の議決権を有する場合、会社法第313条に基づき、その有する議決権を統一しないで行使することができます。但し、当該株主は、平成28年6月24日までに、洛王セレモニーに対してその有する議決権を統一しないで行使する旨及びその理由を通知する必要があります。また、洛王セレモニーは、当該株主が他人のために株式を有する者でないときは、当該株主がその有する議決権を統一しないで行使するところを拒むことがあります。

< 後略 >

（訂正後）

(1) 株式買取請求権の行使の方法について

洛王セレモニーの株主が洛王セレモニーに対して、その保有する普通株式につき、会社法第806条に定める反対株主の株式買取請求権を行使するためには、平成28年6月28日開催の定時株主総会に先立って本株式移転に反対する旨を通知し、かつ、定時株主総会において本株式移転に反対する旨の議決権行使を行うとともに、会社法第806条第3項に基づく通知又は第4項に基づく公告を行った日から20日以内に、その株式買取請求に係る株式の数を明らかにして行う必要があります。

(2) 議決権の行使の方法について

洛王セレモニーの株主による議決権の行使の方法としては、平成28年6月28日開催の定時株主総会に出席して議決権を行使する方法があります（なお、株主は、洛王セレモニーの議決権を有する他の株主1名を代理人として、その議決権を行使することができます。この場合、当該株主又は代理人は、株主総会ごとに作成された、当該株主総会に関する代理権を証明する書面を、洛王セレモニーに提出する必要があります。）。また、当該株主が書面によって議決権を行使する方法もあり、その場合には平成28年6月27日午後6時までに議決権を行使することが必要となります。

なお、議決権行使書用紙に各議案の賛否又は棄権の記載がない場合は、賛成の意思表示があったものとして取り扱います。

株主は、複数の議決権を有する場合、会社法第313条に基づき、その有する議決権を統一しないで行使することができます。但し、当該株主は、平成28年6月24日までに、洛王セレモニーに対してその有する議決権を統一しないで行使する旨及びその理由を通知する必要があります。また、洛王セレモニーは、当該株主が他人のために株式を有する者でないときは、当該株主がその有する議決権を統一しないで行使するところを拒むことがあります。

< 後略 >

7【組織再編成に関する手続（公開買付けに関する手続）】

（訂正前）

- (1) 組織再編成に関し会社法等に基づき備置がなされている書類の種類及びその概要並びに当該書類の閲覧方法
本株式移転に関し、会社法第803条第1項及び会社法施行規則第206条の各規定に基づき、株式移転計画及び会社法第773条第1項第5号及び第6号に掲げる事項についての定め相当性に関する事項の内容を記載した書面を平成28年6月13日より洛王セレモニーの本店に備え置きます。また、洛王セレモニーの最終事業年度の末日後に重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象が生じたときは、その内容を記載した書面を追加で備え置くこととします。

の書類は、洛王セレモニーの取締役会において決定されたものであり、その内容は、「第二部 組織再編成（公開買付け）に関する情報 第1 組織再編成（公開買付け）の概要 3 組織再編成に係る契約」に記載のとおりです。

の書類は、本株式移転に際して株式移転比率及びその算定根拠並びに株式移転計画に定める当社の資本金及び準備金の額に関する事項が相当であることを説明した書面です。

の書類は、洛王セレモニーの最終事業年度末日後に、重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象が生じたときに備え置かれるものであり、当該事象を記載した書面です。

これらの書類は、洛王セレモニー本店において、営業時間内に閲覧することができます。なお、本株式移転が効力を生ずる日までの間に、上記～に掲げる事項に変更が生じた場合には、変更後の事項を記載した書面を追加で備え置きます。

- (2) 株主総会等の組織再編成に係る手続の方法及び日程

本株式移転に係る日程は次のとおりです。

平成28年5月16日	洛王セレモニー取締役会において株式移転計画の承認
平成28年6月28日（予定）	洛王セレモニー定時株主総会において株式移転による完全親会社設立承認
平成28年7月7日（予定）	当社設立登記日及び株式移転効力発生日

（注） 今後の手続を進める中で、洛王セレモニーの取締役会決議により、日程等を変更する場合があります。

- (3) 組織再編成対象会社が発行者である有価証券の所有者が当該組織再編成行為に際して買取請求権を行使する方法

洛王セレモニーの株主が洛王セレモニーに対して、その保有する普通株式につき、会社法第806条に定める反対株主の株式買取請求権を行使するためには、平成28年6月28日開催予定の定時株主総会に先立って本株式移転に反対する旨を通知し、かつ、定時株主総会において本株式移転に反対する旨の議決権行使を行うとともに、会社法第806条第3項に基づく通知又は第4項に基づく公告を行った日から20日以内に、その株式買取請求に係る株式の数を明らかにして行う必要があります。

（訂正後）

(1) 組織再編成に関し会社法等に基づき備置がなされている書類の種類及びその概要並びに当該書類の閲覧方法

本株式移転に関し、会社法第803条第1項及び会社法施行規則第206条の各規定に基づき、株式移転計画及び会社法第773条第1項第5号及び第6号に掲げる事項についての定め相当性に関する事項の内容を記載した書面を平成28年6月13日より洛王セレモニーの本店に備え置いております。また、洛王セレモニーの最終事業年度の末日後に重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象が生じたときは、その内容を記載した書面を追加で備え置いております。

の書類は、洛王セレモニーの取締役会において決定されたものであり、その内容は、「第二部 組織再編成（公開買付け）に関する情報 第1 組織再編成（公開買付け）の概要 3 組織再編成に係る契約」に記載のとおりです。

の書類は、本株式移転に際して株式移転比率及びその算定根拠並びに株式移転計画に定める当社の資本金及び準備金の額に関する事項が相当であることを説明した書面です。

の書類は、洛王セレモニーの最終事業年度末日後に、重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象が生じたときに備え置かれるものであり、当該事象を記載した書面です。

これらの書類は、洛王セレモニー本店において、営業時間内に閲覧することができます。なお、本株式移転が効力を生ずる日までの間に、上記～に掲げる事項に変更が生じた場合には、変更後の事項を記載した書面を追加で備え置いております。

(2) 株主総会等の組織再編成に係る手続の方法及び日程

本株式移転に係る日程は次のとおりです。

平成28年5月16日	洛王セレモニー取締役会において株式移転計画の承認
平成28年6月28日	洛王セレモニー定時株主総会において株式移転による完全親会社設立承認
平成28年7月7日（予定）	当社設立登記日及び株式移転効力発生日

（注） 今後の手続を進める中で、洛王セレモニーの取締役会決議により、日程等を変更する場合があります。

(3) 組織再編成対象会社が発行者である有価証券の所有者が当該組織再編成行為に際して買取請求権を行使する方法

洛王セレモニーの株主が洛王セレモニーに対して、その保有する普通株式につき、会社法第806条に定める反対株主の株式買取請求権を行使するためには、平成28年6月28日開催の定時株主総会に先立って本株式移転に反対する旨を通知し、かつ、定時株主総会において本株式移転に反対する旨の議決権行使を行うとともに、会社法第806条第3項に基づく通知又は第4項に基づく公告を行った日から20日以内に、その株式買取請求に係る株式の数を明らかにして行う必要があります。

第2【統合財務情報】

(訂正前)

当社は新設会社であるため、本届出書提出日現在において財務情報はありません。

当社の完全子会社となる洛王セレモニーの最近会計年度の主要な経営指標は以下のとおりであります。これら洛王セレモニーの経営指標は、当社の経営指標に反映されるものと考えられます。

主要な経営指標等の推移

(1) 連結経営指標等の推移

回次	第32期 (参考)
決算年月	平成28年3月
売上高 (千円)	
経常利益 (千円)	
当期純利益 (千円)	
包括利益 (千円)	
純資産額 (千円)	1,173,105
総資産額 (千円)	2,510,395
1株当たり純資産額 (円)	629.28
1株当たり当期純利益 (円)	
潜在株式調整後1株当たり当期純利益 (円)	
自己資本比率 (%)	46.7
自己資本利益率 (%)	
株価収益率 (倍)	
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	
現金及び現金同等物の期末残高 (千円)	
従業員数 (人)	62
(外、平均臨時雇用者数)	(121)

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 当社は、平成27年12月14日開催の取締役会において、平成28年1月21日を効力発生日として、当社を株式交換完全親会社、神奈川こすもすを株式交換完全子会社とする株式交換を行うことを決議し、同日付で株式交換契約を締結したため、平成28年3月期より連結財務諸表を作成しております。なお、平成28年3月31日をみなし取得日としており、平成28年3月期の連結会計年度においては貸借対照表のみを連結しております。

3 第32期については、本届出書提出日現在において未確定であるため、洛王セレモニー及び神奈川こすもすの直前期末である平成28年3月31日現在における貸借対照表を基礎として、見込額を算出し記載しております。

4 当社は潜在株式の存在がないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額は記載しておりません。

5 株価収益率につきましては、当社株式は非上場でありますので記載しておりません。

6 従業員数欄の(外書)は、臨時従業員の年間平均雇用人員であります。

7 第32期については、監査法人の監査証明を受けていない記載であることにご留意下さい。

(2) 経営指標等の推移

回次	第27期	第28期	第29期	第30期	第31期	第32期 (参考)
決算年月	平成23年 3月	平成24年 3月	平成25年 3月	平成26年 3月	平成27年 3月	平成28年 3月
売上高 (千円)	<u>1,289,657</u>	1,467,816	1,628,503	1,860,364	2,202,175	2,393,845
経常利益 (千円)	<u>84,762</u>	172,074	231,928	274,229	358,713	407,323
当期純利益 (千円)	<u>76,232</u>	78,171	145,964	164,787	225,674	274,202
持分法を適用した場合の 投資利益 (千円)	—					
資本金 (千円)	<u>237,123</u>	237,123	237,123	237,123	237,123	237,123
発行済株式総数 (株)	<u>20,542</u>	20,542	20,542	20,542	2,054,200	2,054,200
純資産額 (千円)	<u>396,028</u>	465,983	595,514	698,676	887,375	999,053
総資産額 (千円)	<u>1,330,410</u>	1,377,280	1,509,879	1,584,987	1,750,765	1,862,838
1株当たり純資産額 (円)	<u>19,278.98</u>	22,684.43	28,999.10	340.12	431.98	535.92
1株当たり配当金 (1株当たり中間配当 金) (円)	<u>400</u> ()	800 ()	3,000 ()	1,800 ()	19 ()	20 ()
1株当たり当期純利益 (円)	<u>3,711.03</u>	3,805.44	7,105.67	80.22	109.86	143.19
潜在株式調整後1株当 り当期純利益 (円)	—					
自己資本比率 (%)	<u>29.8</u>	33.8	39.4	44.1	50.7	53.6
自己資本利益率 (%)	<u>21.1</u>	18.1	27.5	25.4	28.5	29.1
株価収益率 (倍)	—					
配当性向 (%)	<u>10.8</u>	21.0	42.2	22.4	17.3	14.0
営業活動によるキャッ シュ・フロー (千円)	<u>115,986</u>	187,152	188,954	207,382	345,789	291,991
投資活動によるキャッ シュ・フロー (千円)	<u>185,340</u>	63,762	48,495	114,540	130,938	102,258
財務活動によるキャッ シュ・フロー (千円)	<u>179,862</u>	102,145	38,255	107,407	135,644	299,375
現金及び現金同等物の期 末残高 (千円)	<u>135,973</u>	157,217	259,421	244,855	324,061	214,418
従業員数 (外、平均臨時雇用者 数) (人)	<u>20</u> (56)	19 (67)	27 (71)	25 (76)	32 (87)	33 (86)

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 第29期の1株当たり配当額には、グリーンシート銘柄指定10周年の記念配当金1,500円を含んでおります。

3 株価収益率につきましては、当社株式は非上場でありますので記載しておりません。

4 当社は関連会社がありませんので、持分法を適用した場合の投資利益については記載しておりません。

5 当社は潜在株式の存在がないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額は記載しておりません。

6 従業員数欄の(外書)は、臨時従業員の年間平均雇用人員であります。

7 当社は、平成26年9月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行いました。第30期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。

8 第32期については、監査法人の監査証明を受けていない記載であることにご留意下さい。

（訂正後）

当社は新設会社であるため、本訂正届出書提出日現在において財務情報はありません。

当社の完全子会社となる洛王セレモニーの最近会計年度の主要な経営指標は以下のとおりであります。これら洛王セレモニーの経営指標は、当社の経営指標に反映されるものと考えられます。

主要な経営指標等の推移

(1) 連結経営指標等の推移

回次	第32期
決算年月	平成28年3月
売上高 (千円)	
経常利益 (千円)	
当期純利益 (千円)	
包括利益 (千円)	
純資産額 (千円)	1,040,730
総資産額 (千円)	2,371,686
1株当たり純資産額 (円)	558.27
1株当たり当期純利益 (円)	
潜在株式調整後1株当たり当期純利益 (円)	
自己資本比率 (%)	43.9
自己資本利益率 (%)	
株価収益率 (倍)	
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	
現金及び現金同等物の期末残高 (千円)	
従業員数 (人)	62
(外、平均臨時雇用者数)	(121)

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 当社は、平成27年12月14日開催の取締役会において、平成28年1月21日を効力発生日として、当社を株式交換完全親会社、神奈川こすもすを株式交換完全子会社とする株式交換を行うことを決議し、同日付で株式交換契約を締結したため、平成28年3月期より連結財務諸表を作成しております。なお、平成28年3月31日をみなし取得日としており、平成28年3月期の連結会計年度においては貸借対照表のみを連結しております。

3 当社は潜在株式の存在がないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額は記載しておりません。

4 株価収益率につきましては、当社株式は非上場でありますので記載しておりません。

5 従業員数欄の(外書)は、臨時従業員の年間平均雇用人員であります。

6 第32期については、平成28年6月28日付で会計監査人の「監査報告書」を受領しております。

(注) 3の全文削除、4・5・6・7の番号変更

(2) 経営指標等の推移

回次	第28期	第29期	第30期	第31期	第32期
決算年月	平成24年 3月	平成25年 3月	平成26年 3月	平成27年 3月	平成28年 3月
売上高 (千円)	1,467,816	1,628,503	1,860,364	2,202,175	2,393,845
経常利益 (千円)	172,074	231,928	274,229	358,713	407,323
当期純利益 (千円)	78,171	145,964	164,787	225,674	274,202
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)					
資本金 (千円)	237,123	237,123	237,123	237,123	237,123
発行済株式総数 (株)	20,542	20,542	20,542	2,054,200	2,054,200
純資産額 (千円)	465,983	595,514	698,676	887,375	999,053
総資産額 (千円)	1,377,280	1,509,879	1,584,987	1,750,765	1,862,838
1株当たり純資産額 (円)	22,684.43	28,999.10	340.12	431.98	535.92
1株当たり配当金 (1株当たり中間配当金) (円)	800 ()	3,000 ()	1,800 ()	19 ()	20 ()
1株当たり当期純利益 (円)	3,805.44	7,105.67	80.22	109.86	143.19
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益 (円)					
自己資本比率 (%)	33.8	39.4	44.1	50.7	53.6
自己資本利益率 (%)	18.1	27.5	25.4	28.5	29.1
株価収益率 (倍)					
配当性向 (%)	21.0	42.2	22.4	17.3	14.0
営業活動によるキャッ シュ・フロー (千円)	187,152	188,954	207,382	345,789	291,991
投資活動によるキャッ シュ・フロー (千円)	63,762	48,495	114,540	130,938	102,258
財務活動によるキャッ シュ・フロー (千円)	102,145	38,255	107,407	135,644	299,375
現金及び現金同等物の期末 残高 (千円)	157,217	259,421	244,855	324,061	214,418
従業員数 (人) (外、平均臨時雇用者数)	19 (67)	27 (71)	25 (76)	32 (87)	33 (86)

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 第29期の1株当たり配当額には、グリーンシート銘柄指定10周年の記念配当金1,500円を含んでおります。

3 株価収益率につきましては、当社株式は非上場でありますので記載しておりません。

4 当社は関連会社がありませんので、持分法を適用した場合の投資利益については記載しておりません。

5 当社は潜在株式の存在がないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額は記載しておりません。

6 従業員数欄の(外書)は、臨時従業員の年間平均雇用人員であります。

7 当社は、平成26年9月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行いました。第30期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。

8 第32期については、平成28年6月28日付で会計監査人の「監査報告書」を受領しております。

第三部【企業情報】

第1【企業の概況】

2【沿革】

（訂正前）

平成28年5月16日 洛王セレモニー取締役会において株式移転計画を承認することを決議しました。
平成28年6月28日（予定） 洛王セレモニー定時株主総会において株式移転による完全親会社設立を承認する旨の決議を行う予定です。
平成28年7月7日（予定） 株式移転により、持株会社（当社）を設立する予定です。

（訂正後）

平成28年5月16日 洛王セレモニー取締役会において株式移転計画を承認することを決議しました。
平成28年6月28日 洛王セレモニー定時株主総会において株式移転による完全親会社設立を承認することを決議しました。
平成28年7月7日（予定） 株式移転により、持株会社（当社）を設立する予定です。

第2【事業の状況】

1【業績等の概要】

（訂正前）

当社は新設会社であるため、該当事項はありません。

なお、当社の完全子会社となる洛王セレモニーの業績等の概要については、同社の有価証券報告書（平成27年6月25日提出）及び四半期報告書（平成27年8月14日提出、平成27年11月13日及び平成28年2月12日提出）をご参照ください。

（訂正後）

当社は新設会社であるため、該当事項はありません。

なお、当社の完全子会社となる洛王セレモニーの業績等の概要については、同社の有価証券報告書（平成28年6月28日提出）をご参照ください。

2【生産、受注及び販売の状況】

（訂正前）

当社は新設会社であるため、該当事項はありません。

なお、当社の完全子会社となる洛王セレモニーの生産、受注及び販売の状況については、同社の有価証券報告書（平成27年6月25日提出）及び四半期報告書（平成27年8月14日提出、平成27年11月13日及び平成28年2月12日提出）をご参照ください。

（訂正後）

当社は新設会社であるため、該当事項はありません。

なお、当社の完全子会社となる洛王セレモニーの生産、受注及び販売の状況については、同社の有価証券報告書（平成28年6月28日提出）をご参照ください。

3【対処すべき課題】

（訂正前）

当社は新設会社であるため、該当事項はありません。

当社の完全子会社となる洛王セレモニーの対処すべき課題については、同社の有価証券報告書（平成27年6月25日提出）及び四半期報告書（平成27年8月14日提出、平成27年11月13日及び平成28年2月12日提出）をご参照ください。

なお、本株式移転により洛王セレモニーの完全親会社となるため、当社の設立後は、洛王セレモニーの対処すべき課題が当社の対処すべき課題となりうることが想定されます。

（訂正後）

当社は新設会社であるため、該当事項はありません。

当社の完全子会社となる洛王セレモニーの対処すべき課題については、同社の有価証券報告書（平成28年6月28日提出）をご参照ください。

なお、本株式移転により洛王セレモニーの完全親会社となるため、当社の設立後は、洛王セレモニーの対処すべき課題が当社の対処すべき課題となりうることが想定されます。

4【事業等のリスク】

（訂正前）

当社は新設会社であるため、該当事項はありませんが、本株式移転により洛王セレモニーの完全親会社となるため、当社の設立後は、本届出書提出日現在における洛王セレモニーの事業等のリスクが当社グループの事業等のリスクとなりうることが想定されます。洛王セレモニーの事業等のリスクを踏まえた当社グループの事業等のリスクは以下のとおりであります。

なお、本項においては、将来に関する事項も含まれておりますが、当該事項は、別段の記載がない限り、本届出書提出日現在において洛王セレモニーが判断したものであります。

< 後略 >

（訂正後）

当社は新設会社であるため、該当事項はありませんが、本株式移転により洛王セレモニーの完全親会社となるため、当社の設立後は、本訂正届出書提出日現在における洛王セレモニーの事業等のリスクが当社グループの事業等のリスクとなりうることが想定されます。洛王セレモニーの事業等のリスクを踏まえた当社グループの事業等のリスクは以下のとおりであります。

なお、本項においては、将来に関する事項も含まれておりますが、当該事項は、別段の記載がない限り、本訂正届出書提出日現在において洛王セレモニーが判断したものであります。

< 後略 >

5【経営上の重要な契約等】

（訂正前）

当社は新設会社であるため、該当事項はありません。

なお、当社の完全子会社となる洛王セレモニーの経営上の重要な契約等については、同社の有価証券報告書（平成27年6月25日提出）及び四半期報告書（平成27年8月14日提出、平成27年11月13日及び平成28年2月12日提出）をご参照ください。

（訂正後）

当社は新設会社であるため、該当事項はありません。

なお、当社の完全子会社となる洛王セレモニーの経営上の重要な契約等については、同社の有価証券報告書（平成28年6月28日提出）をご参照ください。

6【研究開発活動】

（訂正前）

当社は新設会社であるため、該当事項はありません。

なお、当社の完全子会社となる洛王セレモニーの研究開発活動については、同社の有価証券報告書（平成27年6月25日提出）及び四半期報告書（平成27年8月14日提出、平成27年11月13日及び平成28年2月12日提出）をご参照ください。

（訂正後）

当社は新設会社であるため、該当事項はありません。

なお、当社の完全子会社となる洛王セレモニーの研究開発活動については、同社の有価証券報告書（平成28年6月28日提出）をご参照ください。

7【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

（訂正前）

当社は新設会社であるため、該当事項はありません。

なお、当社の完全子会社となる洛王セレモニーの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析については、同社の有価証券報告書（平成27年6月25日提出）及び四半期報告書（平成27年8月14日提出、平成27年11月13日及び平成28年2月12日提出）をご参照ください。

（訂正後）

当社は新設会社であるため、該当事項はありません。

なお、当社の完全子会社となる洛王セレモニーの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析については、同社の有価証券報告書（平成28年6月28日提出）をご参照ください。

第3【設備の状況】

1【設備投資等の概要】

(2) 連結子会社の状況

(訂正前)

当社の完全子会社となる洛王セレモニーの設備投資等の概要については、同社の有価証券報告書（平成27年6月25日提出）をご参照ください。

(訂正後)

当社の完全子会社となる洛王セレモニーの設備投資等の概要については、同社の有価証券報告書（平成28年6月28日提出）をご参照ください。

2【主要な設備の状況】

(2) 連結子会社の状況

(訂正前)

当社の完全子会社となる洛王セレモニーの主要な設備の状況については、同社の有価証券報告書（平成27年6月25日提出）をご参照ください。

(訂正後)

当社の完全子会社となる洛王セレモニーの主要な設備の状況については、同社の有価証券報告書（平成28年6月28日提出）をご参照ください。

3【設備の新設、除却等の計画】

(2) 連結子会社の状況

(訂正前)

当社の完全子会社となる洛王セレモニーの設備の新設、除却等の計画については、同社の有価証券報告書（平成27年6月25日提出）をご参照ください。

(訂正後)

当社の完全子会社となる洛王セレモニーの設備の新設、除却等の計画については、同社の有価証券報告書（平成28年6月28日提出）をご参照ください。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(5)【所有者別状況】

(訂正前)

当社は新設会社であるため、本届出書提出日現在において所有者はおりませんが、当社の完全子会社となる洛王セレモニーの平成28年3月31日現在の所有者別状況は以下のとおりであります。

<後略>

(訂正後)

当社は新設会社であるため、本訂正届出書提出日現在において所有者はおりませんが、当社の完全子会社となる洛王セレモニーの平成28年3月31日現在の所有者別状況は以下のとおりであります。

<後略>

(6)【大株主の状況】

(訂正前)

当社は新設会社であるため、本届出書提出日現在において所有者はおりませんが、当社の完全子会社となる洛王セレモニーの平成28年3月31日現在の大株主の状況は以下のとおりであります。

<後略>

(訂正後)

当社は新設会社であるため、本訂正届出書提出日現在において所有者はおりませんが、当社の完全子会社となる洛王セレモニーの平成28年3月31日現在の大株主の状況は以下のとおりであります。

<後略>

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

(訂正前)

当社は新設会社であるため、本届出書提出日現在において所有者はおりませんが、当社の完全子会社となる洛王セレモニーの平成28年3月31日現在の発行済株式についての議決権の状況は以下のとおりであります。

<後略>

(訂正後)

当社は新設会社であるため、本訂正届出書提出日現在において所有者はおりませんが、当社の完全子会社となる洛王セレモニーの平成28年3月31日現在の発行済株式についての議決権の状況は以下のとおりであります。

<後略>

5【役員の状況】

(訂正前)

<前略>

- (注) 1 取締役の任期は、平成28年7月7日である当社の設立日より、平成30年3月期に係る当社の定時株主総会終結の時までです。
- 2 監査役の任期は、平成28年7月7日である当社の設立日より、平成32年3月期に係る当社の定時株主総会終結の時までです。
- 3 役名及び職名は、本届出書提出日現在において予定されている役職名を記載しております。

(訂正後)

<前略>

- (注) 1 取締役の任期は、平成28年7月7日である当社の設立日より、平成30年3月期に係る当社の定時株主総会終結の時までです。
- 2 監査役の任期は、平成28年7月7日である当社の設立日より、平成32年3月期に係る当社の定時株主総会終結の時までです。
- 3 役名及び職名は、本訂正届出書提出日現在において予定されている役職名を記載しております。

6【コーポレート・ガバナンスの状況等】

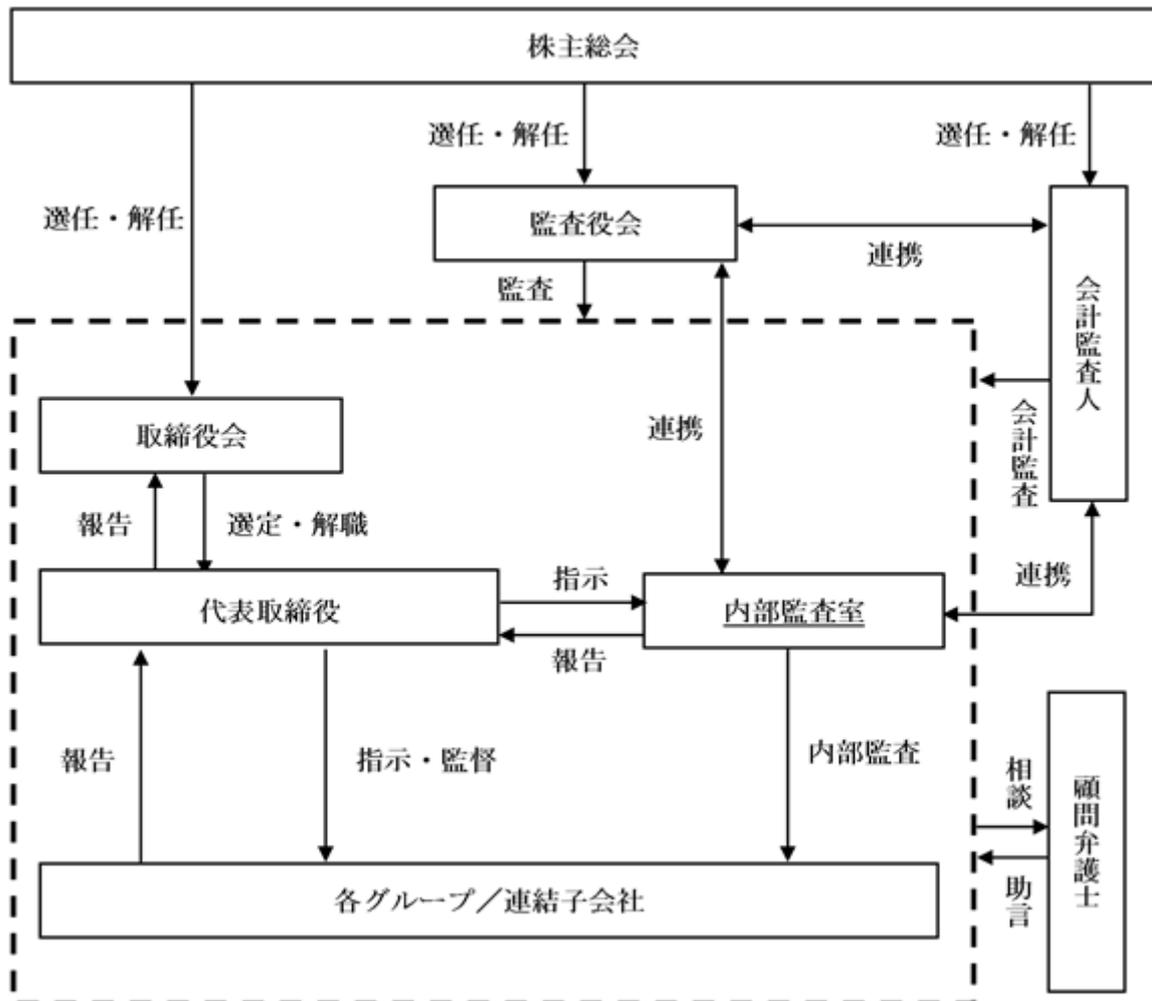
(1)【コーポレート・ガバナンスの状況】

内部統制システムの整備状況

(訂正前)

<前略>

なお、洛王セレモニーの現行の内部統制システムを図示いたしますと、以下のとおりであります。

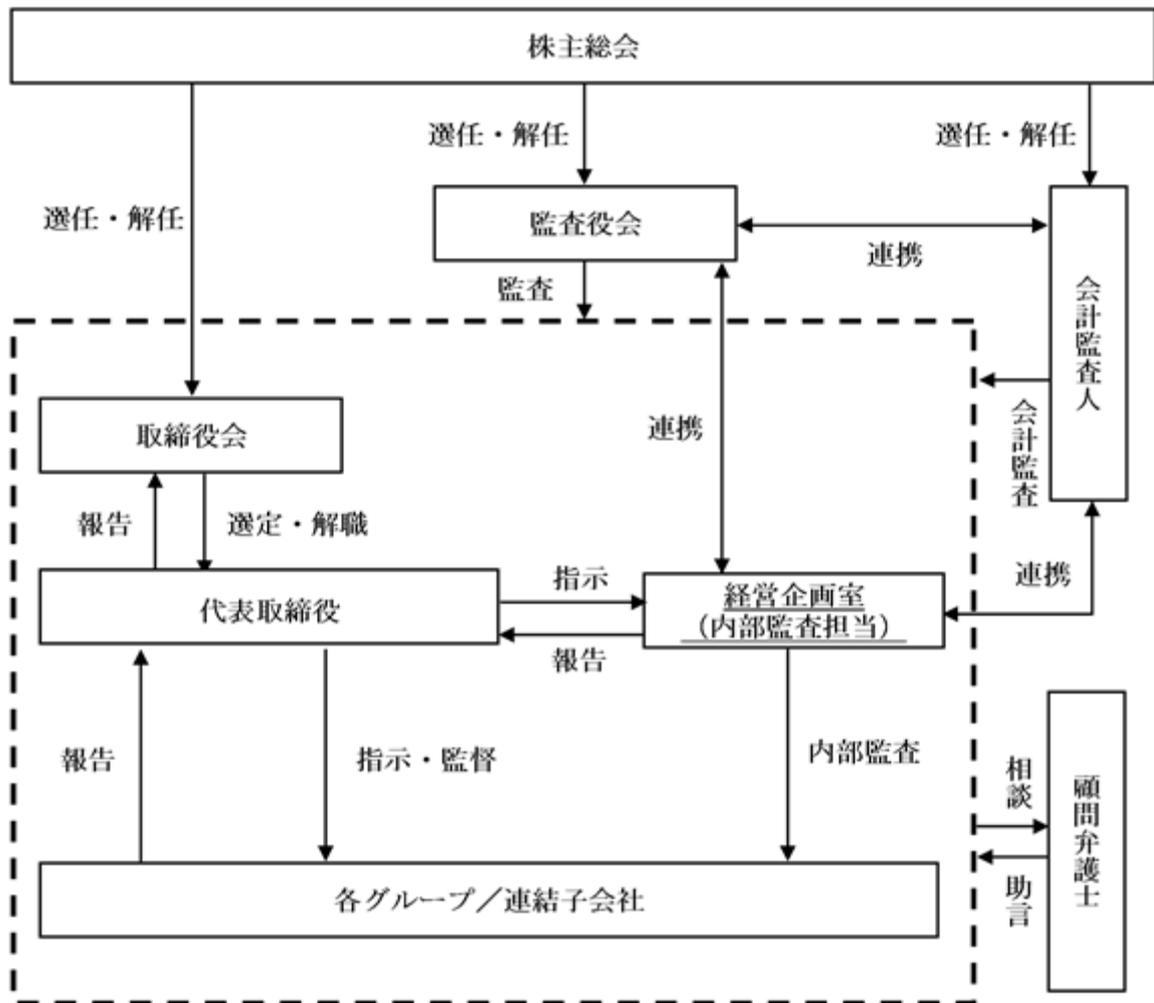


(注) 平成28年3月31日現在

(訂正後)

<前略>

なお、洛王セレモニーの現行の内部統制システムを図示いたしますと、以下のとおりであります。



(注) 平成28年3月31日現在

その他事項

(訂正前)

その他コーポレート・ガバナンスの状況等に関する詳細事項につきましては、当社は新設会社であるため、本届出書提出日現在において未定となっております。

(訂正後)

その他コーポレート・ガバナンスの状況等に関する詳細事項につきましては、当社は新設会社であるため、本訂正届出書提出日現在において未定となっております。

第5【経理の状況】

（訂正前）

当社は新設会社であるため、該当事項はありません。なお、当社の完全子会社となる洛王セレモニーの経理の状況については、同社の有価証券報告書（平成27年6月25日提出）及び四半期報告書（平成27年8月14日提出、平成27年11月13日及び平成28年2月12日提出）をご参照ください。

（訂正後）

当社は新設会社であるため、該当事項はありません。なお、当社の完全子会社となる洛王セレモニーの経理の状況については、同社の有価証券報告書（平成28年6月28日提出）をご参照ください。

第六部【組織再編成対象会社情報】

第1【継続開示会社たる組織再編成対象会社に関する事項】

（1）【組織再編成対象会社が提出した書類】

（訂正前）

【有価証券報告書及びその添付書類】

・事業年度（第31期）（自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）平成27年6月25日近畿財務局長に提出

【四半期報告書又は半期報告書】

・事業年度（第32期 第1四半期）（自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日）平成27年8月14日近畿財務局長に提出

・事業年度（第32期 第2四半期）（自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日）平成27年11月13日近畿財務局長に提出

・事業年度（第32期 第3四半期）（自 平成27年10月1日 至 平成27年12月31日）平成28年2月12日近畿財務局長に提出

【臨時報告書】

洛王セレモニーが の有価証券報告書の提出後、本届出書提出日（平成28年5月17日）までに提出した臨時報告書は次のとおりです。

・金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第6号の2（株式交換）の規定に基づき、平成28年2月10日近畿財務局長に提出。

・金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第6号の3（株式移転）の規定に基づき、平成28年5月17日近畿財務局長に提出。

・金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第3号（親会社の異動）及び第4号（主要株主の異動）の規定に基づき、平成28年5月17日近畿財務局長に提出。

（訂正後）

【有価証券報告書及びその添付書類】

・事業年度（第32期）（自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）平成28年6月28日近畿財務局長に提出

【四半期報告書又は半期報告書】

該当事項はありません。

【臨時報告書】

該当事項はありません。

【訂正報告書】

臨時報告書の訂正報告書を平成28年5月17日に近畿財務局長に提出。